

組織目標管理シート

年度	令和7年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	作成日	R7.5.2
組織名(部)	市民病院	組織名 (準部・課・機関名)	経営企画課	評価日

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)			
1	収支改善計画の策定及びその実行に取り組み、病院経営の健全化を目指します。	行財2-1-①	収支改善計画の策定及び実行	同左計画の策定及び実行		・収益増と費用削減に向けた対策立案及び実行	外部コンサルタントを活用し、収益増、費用削減及び適正な人員配置に向けた収支改善計画を策定し、その計画の実行に取り組みます。		
2	経営資源の効果的・効率的な配分に努め、費用の抑制を図ります。	行財2-1-①	毎月の決算整理	毎月の決算整理		・経営状況の院内発信 ・費用の抑制	月ごとに患者数等の経営指標や収益及び費用の状況を院内Webのトップページに掲載するとともに、院内広報誌「しゅもく」でわかりやすく周知します。また、適正な執行管理と厳密な予算査定により、費用を抑制します。		
3	適正かつ効率的な会計事務の執行を確保するため、支払い遅延や不適切な処理の発生防止に努めます。	行財2-1-①	事務局内における会計事務研修会の実施	研修会の実施1回		研修会の開催	職員に対し、伝票作成上の注意事項や会計処理上のルール等を周知し、理解を深めることで正確性、迅速性を向上するとともに、支払い遅延や不適切な処理の発生防止に努めます。		

組織目標管理シート

年度	令和7年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	作成日	R7.5.9
組織名(部)	市民病院事務局	管理課	評価日	

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)			
1	医師の働き方改革を推進します。		働き方改革に関する制度の周知徹底と取組みの啓発	年4回以上		医師の超過勤務時間削減等負担軽減	令和6年4月より開始された医師の時間外労働時間規制に関し、医師の負担軽減に資するため医師の異動時期を中心に、制度の周知徹底と院内取組みの啓発を図ります。		
2	病院の施設整備を通じて、災害時の安心・安全の基盤強化や、温室効果ガスの排出削減及び施設のランニングコスト低減に努めます。	行財2-2-2-②	・コージェネレーション設備の更新 ・院内照明のLED化	・コージェネ更新工事の計画通りの進捗確保 ・院内照明のLED化完了		・コージェネレーション設備更新事業 ・院内照明LED化事業	平常時の電力の一部を担うとともに非常用電源でもあるコージェネ設備を更新し、災害時の基盤強化を図るとともに、院内照明を全てLED化し、温室効果ガス排出量とランニングコストの削減に努めます。		
3	病院運営に資する有為な人材の確保に努めます。		必要な人員の確保	・看護師等の必要人員の確保 ・採用試験の手法検討		・採用試験の実施 ・採用試験の実施手法の検討	各部署に必要な人員を確保するための採用試験を実施するとともに、有為な人材を確保するために来年度以降の採用試験の実施手法について検討します。		

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	R7.5.1
組織名(部)	市民病院	組織名 (準部・課・機関名)	医事課			評価日	

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標		主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)			
1	未収金の発生防止と、徴収の強化を積極的に実施し、未収金を縮減します。	行財2-2-①	3ヶ月以上の個人未収金額 (うち損保保険会社支払分を除く額)	50,000千円 (46,000千円)		<ul style="list-style-type: none"> 督促状、催告書の送付 電話催告の拡充、初期対応強化 未収金対策定例会議の開催 納付相談の実施 徴収員による訪問徴収の強化 退院時会計実施率の向上 無保険患者への早期対応 未収金発生防止の取り組みを強化 			
2	院内他部門及び医事業務委託業者と連携を強化し、当院の診療機能に見合った適切な施設基準の取得し、収益の増加につなげます。	行財2-2-①	新規施設基準取得による増収	5項目		<ul style="list-style-type: none"> 当院の診療機能に見合った最適な施設基準の取得 施設基準・運用遵守確認 当院職員の各種研修会参加状況確認 診療実績の把握 			
3	医療情報システムの安定稼働、利便性向上を図るとともに、今年度11月に予定されている医療情報システム更新に向け、必要な業務を行います。	-	改善項目達成率 保守契約締結	現システム分 95% 新システム分 90% 総合的に評価		<ul style="list-style-type: none"> 医療情報システムの安定稼働への取り組み 医療情報システムの利便性向上への取り組み スムーズなシステム切り替え 製品が変更となる部門システムのデータ移行と運用移行 各ベンダーと粘り強く交渉を行い、適切な条件で保守契約を締結する 			
4	国が推し進める医療DX政策をタイムリーに実現します。 RPAなどのデジタル技術を用いて業務DXを推し進め、増収/工数削減を実現します。	行財1-3-②	業務改善取り組み件数 新規削減工数(時間)	20件 900時間		<ul style="list-style-type: none"> 電子処方箋導入 DX推進検討委員会運営 業務改善策の提案と技術支援 RPAなどを用いた業務負担軽減 医療安全向上支援 加算取得支援 各種情報、指標の可視化支援 各種デジタル技術の情報収集 DX推進中期計画策定 			